

令和7年度 青葉区 運営方針

I 基本目標

「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」の実現

青葉区は、計画的に整備された美しい街並みや豊かな自然に恵まれ、地域活動をはじめ、さまざまな活動が活発に行われている魅力にあふれたまちです。

令和7年度は、「横浜市中期計画 2022～2025」の基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を踏まえ5つの柱をもとに、施策・事業を進めます。

区民の皆様暮らしやすさやまちへの愛着をさらに感じていただくとともに、魅力的で選ばれる「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」の実現に向けて取り組んでいきます。

青葉区マスコットキャラクター
なしかちゃん



II 目標達成に向けた施策

横浜市中期計画 2022～2025 基本戦略

子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ

「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」 の実現に向けた 5つの柱

①安心して出産や育児ができ、
子どもたちの未来を創るまち



▲地域子育て支援拠点ラフル

②健やかに暮らし、
いきいきと活躍できるまち



▲地域福祉保健計画の策定

③便利で魅力的な選ばれるまち



▲青葉6大学連携によるイベント

④いつまでも愛着を
持って暮らせるまち



▲都市農業の展開

⑤将来の世代にわたり安全・安心
に暮らせる持続可能なまち



▲小中学生向け防災講座

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

① 地域連携力を高めます

地域との「顔の見える関係」を大切に、地域の実情や課題、想いを共有しながら、引き続き課題解決に取り組めます。また、地域のつながりを深めるために、コーディネート力を発揮し、地域の主体的な取組を支援します。

② 区民の皆様の信頼に応えます

職員一人ひとりが丁寧・迅速・正確な対応を心がけます。また区民の皆様の想いを受け止め、しっかりと寄り添いながら、スピード感をもって対応します。事務事業の点検・効率化をはじめとしたリスクマネジメントを推進し、適正な事務の執行に努めます。

③ チーム力・職員力を高めます

課の枠を超えた情報共有や連携を強化し、協力し支え合える組織づくりを進めます。また、OJT、研修など人材育成に努め、職員のモチベーション・能力の向上、職場全体のチーム力を高めます。

【参考】主な事業・取組

※各事業の詳細は、青葉区 HP
「令和7年度青葉区予算」を
ご覧ください。



青葉区予算 HP

※項目ごとに、関連する「横浜市中期計画 2022～
2025」の戦略・政策番号を<>書きで記載していま
す。各政策の詳細は、横浜市 HP「横浜市中期計画
2022～2025」をご覧ください。



横浜市中期計画 HP

1 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち

誰もが安心して出産や子育てができ、未来を担う子どもたちが社会との関わりの中で健やかに成長できる環境づくりを進めます。また、引き続き「子育てしたいまち推進モデル地区」の取組を推進します。

子育て支援事業

<中期計画 戦略1 政策1・2>

地区別ネットワーク連絡会で話し合われた地域課題を踏まえ、子育て相談や遊び等を通じて養育者の孤立感や育児不安を軽減するための取組として、出張子育て相談ひろば「おでかけラフル」を町内会館や公園等で実施するなど、子育て支援を推進します。

【主な事業・取組】

・子育て支援ネットワーク連絡会、こどもの育ち応援事業

児童虐待・DV対策事業

<中期計画 戦略1 政策4>

児童虐待やDVなど不適切養育を防止するため、児童虐待防止対策や女性福祉相談の支援を強化します。また、子育て中の区民も区役所窓口での相談や手続き等に安心して専念できるよう、こども家庭支援課の窓口脇スペースにおける見守り保育を拡充します。

【主な事業・取組】

・児童虐待対策事業、DV 専門相談

子育てしたいまち推進モデル地区【政策経営局 他】

<中期計画 戦略1 政策1・2
戦略9 政策36 他>

子育てしたいまちの実感につなげるため、複数の施策をエリアで一体的に展開する手法を美しが丘地区でモデル的に実施します。

地域子育て支援拠点事業「出張ひろば」【こども青少年局】

<中期計画 戦略1 政策1>

たちばな台、桜台には親子が集える常設の居場所がなく、急激な人口増加が見込まれるエリアであるため、たちばな台町内会館をお借りして、地域子育て支援拠点ラフルが出張する「ふらっとラフルたちばな台」を毎週金曜日に実施します。

2 健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち

誰もが自分らしく健やかに暮らすことができるよう、地域での支え合いを支援するとともに、いくつになっても生きがいや役割を持って活躍できるための取組を進めます。

地域福祉保健推進事業 ＜中期計画 戦略2 政策10＞	青葉かがやく生き生きプラン（地域福祉保健計画）第5期計画の策定を通じて、地域福祉の理解促進に取り組むとともに、地域・事業者と協働して、身近な支え合いの仕組みづくりを進めます。 【主な事業・取組】 ・地域福祉保健計画の啓発・推進、青葉ふれあい見守り事業
地域包括ケアシステムの推進事業 ＜中期計画 戦略2 政策15・16＞	超高齢社会においても、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症施策を実施し、社会参加促進のためのeスポーツ活用等を支援します。 【主な事業・取組】 ・高齢者支援事業、シニアの社会参加推進事業
障害者ふれあい事業 ＜中期計画 戦略2 政策13＞	青葉区の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等を1冊にした当事者向け冊子『あおばでくらす』を改訂し、障害児者が青葉区での生活・就労等をしやすくなるようにします。 【主な事業・取組】 ・障害児者支援事業、障害児者福祉普及啓発事業
あおば地域サポート事業 ＜中期計画 戦略2 政策9＞	地域活動の中での悩み解決につながるヒントとなる講座を新たに実施し、地域活動団体同士のつながりを生み出すことで、活動を応援します。さらに地域活動のスタートを支援する補助金の交付など、さまざまなアプローチにより持続可能な人と地域のつながりづくりを実施します。 【主な事業・取組】 ・地域課題解決応援事業、あおばスタート補助金

3 便利で魅力的な選ばれるまち

区内事業者や大学などと連携し、地域課題の解決や魅力の創造に取り組むことで、暮らしやすく便利で魅力的なまちを実現します。

まちづくり・データ活用推進事業 ＜中期計画 戦略5 政策27＞	時代とともに変化する区民ニーズを捉えた地域課題の解決を推進するため、区民意識調査等を実施します。 【主な事業・取組】 ・区民意識調査、都市計画マスタープラン等の改定に向けた準備
青葉6大学連携事業 ＜中期計画 戦略4 政策23＞	区内にキャンパスを有する6つの大学（國學院大学、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学）と締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を連携して行います。 【主な事業・取組】 ・学生による地域の課題解決事業
都市計画道路の整備【道路局】 ＜中期計画 戦略9 政策36＞	川崎町田線（恩田地区）の年度内の開通を目指し、交差点改良工事等を進めます。また、川崎町田線（田奈地区）、恩田元石川線（鉄地区、元石川地区）では引き続き用地取得を進めます。

4 いつまでも愛着を持って暮らせるまち

花・緑・農等、青葉区が誇るさまざまな特色を生かした事業・取組を通じて、いつまでも愛着を持って暮らせるまちを目指します。また、GREEN×EXPO 2027 の開催に向けて青葉区から盛り上げていきます。

花と緑があふれる街事業 ＜中期計画 戦略7 政策31＞	花と緑があふれ潤いのある街づくりを進めるため、緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」の活動の支援や研修会を開催します。 【主な事業・取組】 ・ボランティア育成事業、ボランティア支援事業
青葉区における都市農業の展開 ＜中期計画 戦略7 政策32＞	青葉区の特色である農業を生かして将来にわたり魅力あるまちを目指すため、青葉区における都市農業への理解促進や地産地消の推進に取り組みます。 【主な事業・取組】 ・あおば地産地消推進事業、農を身近に感じる事業
GREEN×EXPO 2027 開催に向けた機運醸成 ＜中期計画 戦略5 政策26 戦略7 政策31＞	開催まで2年をきった GREEN×EXPO 2027 について、花・緑・農等、青葉区が誇るさまざまな特色を生かしたイベントの開催などで盛り上げていきます。

5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち

市民生活に不可欠なインフラを適正に維持管理していくことに加え、災害等のさまざまなリスクに備えた、将来の世代にわたって安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、脱炭素社会の実現に向け取り組むことで、持続可能なまちを目指します。

郊外部における脱炭素化の促進 ＜中期計画 戦略3 政策18、 戦略5 政策28＞	桐蔭横浜大学と連携し、区内小学校にペロブスカイト太陽電池（※）を用いた環境出前授業を実施します。また、日常で取り組める脱炭素化の取組としてシェアサイクルのポート設置を進めるなど、郊外部の移動における脱炭素化に向けたPRを行います。 【主な事業・取組】 ・環境出前授業、移動における脱炭素化キャンペーン
青葉区防災の街づくり事業 ＜中期計画 戦略2 政策17 戦略8 政策33～35＞	災害に強い人づくり、避難者対策、医療救護等の対策、災害時のペット対策に重点をおき、地域防災力の向上に取り組みます。 【主な事業・取組】 ・地域防災拠点支援事業、防災啓発事業、災害時のペット対策事業
地域防犯の支援 ＜中期計画 戦略3 政策9＞	防犯グッズの貸与のほか、緊急的な補助金の交付や防犯カメラ設置費用の補助拡大など、区局で地域が行う防犯活動を支援し、安全安心なまちづくりを推進します。

※ペロブスカイト太陽電池とは、桐蔭横浜大学医用工学部の宮坂力特任教授が発明した次世代型の太陽電池です。従来のシリコン型太陽電池と比べ、薄くて、軽くて、曲げられるといった特徴があり、さまざまな用途へ展開できることから、再生可能エネルギー拡大の切り札として期待されています。